

第 3 号

みどりの

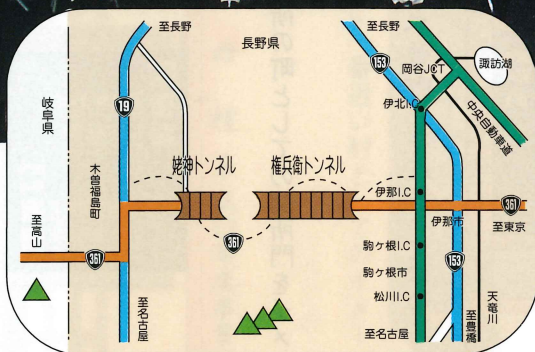
きそ ネット

交流・創造フィールド

長野県木曽広域連合



坑内の貫通地点を練り歩く樽神輿



貫通を祝った祝賀会風景

『伊那—木曽』期待の動脈 国道361号

まず姥神トンネルが貫通

伊那谷が近くなる……
高まる住民の期待

五月二十九日に、国道三六一号の姥神トンネルが貫通しました。

当日は、木曽谷と伊那谷の関係者約三百人が出席し、新しい動脈の貫通を祝いました。

このトンネルは、掘削工事費約六十五億円を投じ、平成九年に榑川村側、平成十年に日義村側から工事がスタートした長さ一・八km、幅員七mの二車線道路で、平成十四年以降の開通を目指しています。

国道三六一号は岐阜県高山市を起点として、長野県高遠町に至る、総延長約百五十二kmの幹線道路です。しかし、伊那谷と木曽谷を結ぶ区間で自動車の通行不能状態が続いていました。

交通不能区間の解消や、安全性の高い道路の整備が叫ばれる中、建設省において平成七年度に、伊那市・日義村間を地域高規格道路『伊那木曽連絡道路』として、整備区間に指定されました。

今後、姥神峠道路と権兵衛峠道路の全線が開通すると、通年通行が可能となり、塩尻市経由で一時間以上かかっている伊那市・木曽福島町間が、三十分程に短縮されることになります。



たな展開へ

スキー場と合意

スキー場看板撤去へ 郡内6スキー場と 覚書に調印

広域連合と郡内6スキー場が六月十二日、公共サイン整備事業にかかる協定の覚書に調印しました。この協定は、国道十九号沿い等にあるスキー場関係の案内看板を一齐に撤去する協定です。

木曾谷を走る南北八十kmの国道沿いには、約九十基のスキー場看板があり、景観の低下等を住民やドライバーから指摘されていきました。

協定が結ばれたことにより、今後は、独自に看板を設置することができなくなります。現在設置されているスキー場関係の

看板は、九月末までに撤去されることになり、木曾の景観形成は、公共サインの整備に続いて第二段階に入りました。

看板の撤去

今後は「ゴルフ場とも

看板撤去事業の発端は、平成四年度の『景観』に関する提言募集で応募者の六割にあたる人達から、沿道景観を損ねる看板の乱立についての意見が寄せられたものです。

国道の沿線には四〇〇基にも及ぶ様々な看板が設置されており、沿道の景観保全や観光客の円滑な誘導に関して疑問の声も上がっていました。

これを受けた広域連合は、「木曾の看板をどうすべきか」について実態の把握を行うとともに、アンケート調査や検討会を重ねた結果、沿道景観の整備が急務であるという結論に達しました。

この度、木曾の景観にマッチする色「木曾グリーン」で統一された公共サインを充実させたことにより、スムーズな誘導について関係者の同意が得られ、スキー場の看板撤去が実現しました。

今後は、郡内4ゴルフ場の看板撤去のための、覚書調印が行われる予定です。

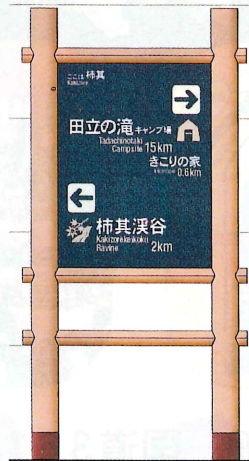
の公共サイン

木曾福島町（平成12年度事業）



関所の町としての関所門をイメージ

南木曾町（平成12年度事業）



木曾五木の丸太をイメージ

木祖村



日曜画家の村としてキャンパスを置くイーゼルをイメージ

上松町



ヒノキの町をイメージ

楢川村



漆器のお椀をイメージ

日義村



木曾義仲旗揚げの地としての幟旗をイメージ



新形成景观

6へ撤去看板



国道19号沿線に設置された
公共サイン（前方）と撤去
予定のスキー場看板（後方）

木曾路のイメージ アップに期待

『木曾路イメージアップ計画』
として、平成九年から四カ年計
画で公共サイン（看板）の整備
事業が進められてきました。
年間約六〇〇万人の観光客が
訪れる木曾谷の観光施設は、広
い地域に点在しています。
看板は、観光地・木曾を訪れ
る人々を目的地まで円滑に誘導
するばかりでなく、デザインで

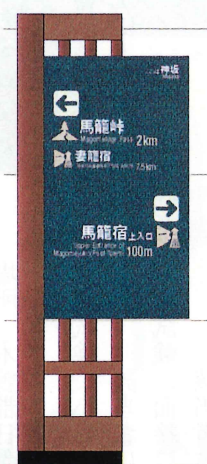
も木曾らしさを演出し、木曾の
イメージアップを図っています。
また、各町村内にも特産品や
町並みなどをイメージした、独
自のデザイン看板で観光客をお
迎えし、わが町・わが村を案内
します。
整備が完了すると、木曾谷に
は九六〇基の看板が設置される
こととなります。

木曾路が変わる

郡内の6スキー場との覚書締
結により、約九〇基にも及ぶ看
板が撤去されることになりました。
これは、スキー場関係者のみ
なさんが景観形成に対して理解
を示してくれた結果です。
引き続き、ゴルフ場との覚書
締結も予定されており、国道十
九号沿道景観の浄化に勢いが加
わります。
これまで進めてきた公共サイ
ン整備事業が、木曾路の風景を
変えるきっかけになってくれる
ことを期待したいものです。
今後は、商業看板の在り方等
について研究を重ね有効な提案
をしていくことが計画されてい
ます。

わが町・わが村

宿場の町並み、格子をイメージ



山口村（平成12年度事業）

星に一番近い村としてのイメージ



王滝村

田んぼの稲を掛けるはぜをイメージ



開田村



各町村共通の狭域誘導サイン

木材の村をイメージ



大桑村（平成12年度事業）

御岳登山の六角の杖と、霊神碑の石をイメージ



三岳村



特産 梅ワイン 試飲
賑わった物産展のひとこま
愛知県一宮市木曾三川公園

五月四日に、愛知県一宮市の木曾三川公園において開催された『リバーサイドフェスティバル』で、郡内全町村の関係者約百六十人が、「水と緑」の大切さをアピールしました。

当日は好天に恵まれ、約四万人の入場者を迎えることができました。

会場内の特設テントには、木と水に親しむコーナーが設けられ、各町村の趣向を凝らした展示に、たくさんの人々が足を止め説明に耳を傾けていました。

屋外ステージでは上松町の桧流太鼓、大桑村の

リバーサイドフェスティバル

『木曾の日』大盛況

アルプホルンクラブ・木曾ヒノキ三味線クラブのみなさんによる演奏が披露されたり、木曾旅館組合から提供されたベア宿泊券の抽選会が行われ、会場は賞品を手にした人達の笑顔と歓声で膨れあがりました。

また、木曾路館、ねざめホテル、木曾温泉、やまゆり荘、フォレスパ木曾の郡内温泉施設からは先着四〇〇名に四日間にわたって『木曾の温泉無料入浴券』がプレゼントされました。

水や緑は、限りなく大きな恩恵を与えてくれる貴重な資源です。

水源地域である木曾谷から「水と緑」の大切さを訴え、広く情報を発信することが、上流地域と下流地域の住民の交流につながり、水資源の大切さや環境保全について考える場となることが期待されます。

広域連合は、今後も木曾の良さをたくさんの人達に理解されるよう上下交流等の事業を計画的に実施していきます。

木曾広域連合職員 採用試験のお知らせ

平成12年度木曾広域連合の職員採用試験は、次により実施されます。

- 1 採用予定人員
事務吏員 若干名
- 2 勤務地
木曾広域連合事務局、または所管する施設
- 3 受験資格
 - ①年 齢
18歳から30歳
(平成13年4月1日現在)
 - ②学 歴
高等学校卒業(見込みを含む)、若しくは同程度以上の学力を有している方
 - ③住所等
木曾郡内に住所を有し通勤可能、または、採用決定後、木曾郡内に住所を有することが可能である方
- 4 欠格事項
地方公務員法第16条の欠格条項に該当する方は、受験できません。
- 5 試験
 - ①試験内容
一次試験(一般教養試験・事務適性検査)
 - ②試験区分
初 級
 - ③試験手続
受検期間
平成12年7月18日から8月17日
郵送の場合は8月17日必着とし簡易書留とします。
なお、郵便等で送付した場合の事故については責任を負いません。
 - ④提出書類
・受験申込書 1部
・健康診断書 1通
受験申込書は、木曾広域連合事務局、及び各町村役場にあります。
健康診断書は、3ヶ月以内に作成されたもので、身長・体重・胸囲・視力・聴力・検尿・血圧・胸部X線及び総合所見が記載されたものがが必要です。
 - ⑤申し込み先
〒三九九一六二〇一
木曾郡日義村四八八―三七
- 6 二次試験(小論文・面接)
該当者に別途通知
- 7 三次試験(面接)
該当者に別途通知
- 8 採用年月日
平成13年4月1日
- 9 給与等
 - ①給 料
行政職(一)表を適用
高校卒初任給 十四万六千五百円
短大卒初任給 十五万七千七百円
大学卒初任給 十七万二三百円
 - ②休暇等
週休二日制ですが、変則交代勤務となる場合もあります。

編集後記

きそネット第3号をお届けします。
今回は、企画振興課の取り組みでいる事業の特集です。
皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

〒三九九一六二〇一
木曾郡日義村四八八―三七
木曾広域連合事務局
TEL 〇二六四―二三一〇五〇
FAX 〇二六四―二三一〇五二